

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成25年1月)

～円安・株高効果等で現状、先行き共に上昇～

- 景気ウォッチャー調査・1月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が3ヶ月連続で上昇、先行き判断も4ヶ月連続の上昇となった。
- 現状判断は、初売りやクリアランスが堅調に推移したほか、円安・株高傾向の進行が消費マインドの押し上げにつながったことなどで、DIが上昇したものとみられる。乗用車や住宅関連をはじめ、円安・株高の効果が売行き的好調につながったとの声は少なくなく、かなり多くの業界が影響を受けているものとみられる。
- 例年の傾向として、1月中旬以降になると、年末年始の支出増加の反動等から消費の落ち込みがみられるが、上記のような背景もあり、今年はその動きが比較的小さくて済んだ可能性もあるとみられる。
- 一方、先行き判断については、政府による経済対策の実施や、円安・株高の継続に対する期待がDIの大幅な上昇につながっている。
- 消費税の増税による影響が出始めるとの声も増えているが、住宅関連では駆け込み需要が期待される一方、百貨店やスーパーのほか、一般小売店では、増税が節約志向の強化につながるとの懸念の声が上がっている。

◎「円安・株高」関連のコメント(現状判断)

家計動向関連	やや良くなっている	百貨店(マネージャー)	・冬物商戦が一段落し、店頭の動きが落ち着いている一方、宝飾品や輸入時計、呉服などの商材の動きが良くなってきている。やはり、株価の動きなど、富裕層のマインドアップにつながるような材料が出てきている。ただし、店頭の通常商品への波及については、まだまだ様子見といったところである。
		百貨店(商品担当)	・株価が上がったお陰で、宝飾品などのぜいたく品などにも動きが出てきた。単価が前年比で1割程度上がっている。
		スーパー(広報担当)	・既存店での乗客数確保は依然として厳しい状況が続いているが、政権交代以降の株価回復はプラス材料である。
		乗用車販売店(経営者)	・自動車業界は依然厳しいが、株高や円安などで、何となく明るい雰囲気である。
		その他専門店[宝石](経営者)	・株価が上がり、円安傾向が進んでいるほか、新政権の打ち出した経済政策や金融政策の迅速な動きにより、客のムードとしては良くなってきている。
		一般レストラン(経理担当)	・政権が交代したことによる期待感や、円安、株高による効果が出ている。
		都市型ホテル(支配人)	・円安や株高が一時的なものかどうかは見極めが必要であるが、景気上昇の期待感を持てるような状況になりつつある。3か月前よりもわずかではあるが、景気は上昇している。
		その他サービス[保険代理店](経営者)	・政権が交代して、経営者は明るい表情をしている。株価、為替の変化もあり、何か期待できそうな前向きな考えを持っている。新政権に代わって景気回復の可能性が出てきたため、それに向けた前向きな思考が変わっている。

家計動向関連	なっている やや良くなる	住宅販売会社 〔総務担当〕	・一時的な動きかもしれないが、政権交代に伴う株価の上昇など、市場全体が上向きになっており、消費税増税前の駆け込み需要も若干みられる。
		その他住宅 〔情報誌〕 〔編集者〕	・新築マンションの販売市場においては、株価の上昇、円安の進行による心理的影響からか、高額住戸の検討者の来場が増加傾向にある。
	変わらない	一般小売店 〔精肉〕（管理担当）	・12月の政権交代後、株価の上昇や円安傾向で、雰囲気としては悪くない感じが年末ごろはしていた。しかし、1月に入ると野菜の高騰なども影響し、やはり少しでも安い物を必要最低限だけ購入しようとする傾向は変わらない。
		スーパー（経理担当）	・年末商戦はまずまずで、年明け以降も株高が続いているが、販売は今一つである。気温も平年より低いが、衣料品が爆発的に売れることもなく、消費は停滞気味である。
		観光型ホテル （経営者）	・1月の予約状況はまずまずであったが、今月に入ってから伸びが思ったほどなく、少し期待外れの結果であった。新政権の経済政策や円安、株高などで先行きの期待感はあるものの、現状は消費者もまだ慎重な姿勢のようである。
なっている 悪くなる	一般小売店 〔珈琲〕（経営者）	・年末から年始にかけて物の動きが悪くなっている。取扱商品が輸入品であるため、円安の影響を受ける。	
企業動向関連	なっている 良くなる	その他非製造業 〔民間放送〕（従業員）	・株高によって景気浮揚感が広がっている。
	なっている やや良くなる	通信業（管理担当）	・株価、円安の状況から、景気が良くなっているように感じる。
	変わらない	不動産業（営業担当）	・神戸から企業が撤退していき、事務所や賃貸住宅の賃料が下落傾向にあるが、円安により多少回復している。
		その他非製造業 〔機械器具卸〕（経営者）	・円安、株高になり、良い方向に向かっているが、実際にはまだ実感もなく、変化もない。
	くなっている やや悪くなる	繊維工業（総務担当）	・円安の影響で加工代、原材料代が上がってきたが、販売価格に転嫁できない状態であり、利益を圧迫しつつある。
雇用関連	変わらない	職業安定所 （職員）	・製造業の落ち込みなどの影響で、求人数が減少傾向にある。円安による経済効果は、あまり求人数にまでは反映されていない。

